

「新型コロナウイルスの感染拡大がテレワークを活用した働き方、
生活・意識などに及ぼす影響に関するアンケート調査」調査票

本調査は、慶應義塾大学経済学部大久保敏弘研究室、(公財)NIRA 総合研究開発機構からの委託を受け、(株)日経リサーチが実施するものです。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、企業ではテレワークが実施されるなど、働き方が大きく変化しています。本調査ではその実態を把握し、災害や感染症による被害を受けても、一人ひとりが能力を十分に発揮して働くことができる社会づくりのための基礎資料として利用します。

NIRA 総合研究開発機構 <https://nira.or.jp/>

今回ご回答いただいた皆様には、数か月後に再度調査のお願いを申し上げる可能性があります。ぜひご協力をお願いいたします。

【スクリーニング調査】

S1.あなたの性別をお答えください。(ひとつだけ)

1. 男性
2. 女性

S2.あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ)

1. 15 歳未満
2. 15～19 歳
3. 20～24 歳
4. 25～29 歳
5. 30～34 歳
6. 35～39 歳
7. 40～44 歳
8. 45～49 歳
9. 50～54 歳
10. 55～59 歳
11. 60～64 歳
12. 65 歳以上

S3.あなたの職業をお答えください。(ひとつだけ)

1. お勤め(正規の職員・従業員)
2. お勤め(パート・アルバイト・労働者派遣事務所の派遣社員・契約職員・嘱託・その他)
3. 会社などの役員
4. 自営業主(従業員あり)
5. 自営業主(従業員なし)
6. 自家営業の手伝い・内職
7. 専業主婦・主夫
8. 学生
9. 無職
10. その他

S4. あなたの現住居の持ち家、借家の区分についてお答えください。家族や親族が所有する住宅に住む場合も持ち家とお答えください。(ひとつだけ)

1. 持ち家
2. 借家
3. 間借り(家族や親族以外の人が所有する住宅の部屋を借りている場合)
4. その他

S5. あなたの最終学歴(在学中、および通信教育課程を含む)をお答えください。(ひとつだけ)

1. 中学校以下
2. 高等学校
3. 短期大学・高等専門学校・専門学校
4. 大学学部
5. 大学院修士課程・大学院博士前期課程・専門職大学院
6. 大学院博士後期課程

【本調査】

I. あなたご自身のことについておうかがいします。

Q1. あなたのお住まいと勤務先の所在する都道府県をお答えください。(それぞれひとつずつ)

(1)お住まい(都道府県のプルダウン)

(2)勤務先(都道府県のプルダウン)

Q2. あなたのお住まいと勤務先の所在する市区町村についておうかがいします。

お住まいと勤務先の所在する市区町村名をお答えください。

市町村名は現在の名称でご記入ください。東京都区部、または政令指定都市の場合には区名まで必ずお書きください。全国の市町村名は、以下からご確認いただけます。

<https://www.j-lis.go.jp/spd/code-address/jititai-code.html>

1. お住まい	
2. 勤務先	

Q3. あなたのふだんの主な通勤手段をお答えください。(ひとつだけ)

1. 公共交通機関(鉄道・バス)
2. 自動車・バイク・自転車
3. 徒歩
4. 通勤する必要がない(自宅が職場など)
5. その他()

(Q3≠4のみ)

SQ. 自宅からあなたの勤務先までの通勤時間は片道どのくらいかかりますか。

□時間□□分

(プルダウン: 時間は 0～9、分は 0～55 まで 5 刻み)

Q4. あなた個人の主なお仕事からの収入は、2019 年 1 年間でいくらでしたか。税金・保険料などが差し引かれる前の金額をお答えください。自営業の場合は、売上高から必要経費を差し引いた営業利益の金額をお答えください。(ひとつだけ)

1. 50 万円未満
2. 50～99 万円
3. 100～149 万円
4. 150～199 万円
5. 200～249 万円
6. 250～299 万円
7. 300～349 万円
8. 350～399 万円
9. 400～449 万円
10. 450～499 万円
11. 500～549 万円
12. 550～599 万円
13. 600～649 万円
14. 650～699 万円
15. 700～799 万円
16. 800～899 万円
17. 900～999 万円
18. 1,000～1,249 万円
19. 1,250～1,499 万円
20. 1,500～1,749 万円
21. 1,750～1,999 万円
22. 2,000 万円以上

Q5. あなたは通常、リスクを進んでとりますか。それともリスクをとることを避けようとしていますか。0 から 10 でお答えください。(ひとつだけ)

0(まったくリスクをとろうとしない)

10(とても進んでリスクをとろうとする)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

II. あなたの最近のことについて、おうかがいします。

Q6. 過去 30 日の間、あなたは新型コロナウイルスの情報を得るために、以下のメディアをどの程度みていましたか。(それぞれひとつずつ)

	1 日中ほとんど みていた	1 日のうち頻繁 にみていた	1 日のうち時々 みていた	1 日のうちほと んどみていな かった	1 日のうちまっ たくみていな かった
1. テレビ・ラジオ	1	2	3	4	5
2. 新聞・雑誌	1	2	3	4	5
3. インターネットニ ュースサイト	1	2	3	4	5
4. SNS(Twitter、 Facebook など)、ブログ、そ の他のサイト	1	2	3	4	5

Q7. 過去 30 日の間、あなたがどのように感じていたかについておたずねします。それぞれの質問に対して、そういう気持ちをどれくらいの頻度で感じていたか、一番あてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

過去 30 日の間にどれくらいしばしば…	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくな い
1. 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
2. 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
3. そわそわしたり、落ち着きなく感じましたか	1	2	3	4	5
4. 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
5. 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
6. 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

Q8. 2020年1月(新型コロナウイルスの感染拡大前)と比べて2020年3月は、あなた自身について、以下のことはどう変化したと思いますか。(それぞれひとつずつ)

	大きく減少した	減少した	変化ない	増加した	大きく増加した
1. 労働時間	1	2	3	4	5
2. 家事・育児・介護時間	1	2	3	4	5
3. 睡眠時間	1	2	3	4	5
4. 余暇時間 ※	1	2	3	4	5
5. 所得	1	2	3	4	5
6. 仕事の総量	1	2	3	4	5
7. 仕事全体の満足度	1	2	3	4	5
8. 生活全体の幸福感	1	2	3	4	5

※余暇時間とは、仕事や家事・育児・介護、通勤、睡眠などの生活を営むうえで必要な時間を除いた自分のために自由に使える時間をいいます。

III. あなたのお仕事について、おうかがいします。

※2 つ以上のお仕事をしていた場合には、収入が多い方の仕事についてお答えください。

Q9. あなたのお仕事の内容は、次のどれですか。なお、過去 30 日の間に、もし、転勤や配置転換、仕事の内容が変わった場合、それ以前での部署の仕事の内容で回答してください。(ひとつだけ)

＜管理的職業従事者＞

1. 管理的職業従事者(管理職等)

＜専門的・技術的職業従事者＞

2. 研究者(自然科学系・人文社会科学系)
3. 農林水産技術者
4. 製造技術者
5. 建築・土木・測量技術者
6. 情報処理・通信等技術者(システム管理者、通信ネットワーク技術者)
7. 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師
8. 保健師、助産師、看護師
9. 医療技術・保健医療従事者(診療放射線技術師、理学療法士、歯科衛生士、栄養士、はり師等)
10. 社会福祉専門職業従事者(保育士、福祉相談指導等)
11. 法務従事者(裁判官、弁護士、司法書士他)
12. 経営・金融・保健専門職業従事者(公認会計士、税理士、社会保険労務士等)
13. 経営・業務コンサルタント
14. 教員
15. 宗教家
16. 著述家、記者、編集者
17. 美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者、音楽家、舞台芸術家、俳優等
18. その他の専門的職業従事者(図書館司書、学芸員、カウンセラー等)

＜事務従事者＞

19. 一般事務従事者(庶務事務員、人事事務員、受付、秘書)
20. 会計事務従事者(経理事務員等)
21. 生産関連事務従事者
22. 営業・販売事務従事者
23. 外勤事務従事者(集金人、調査員)
24. 運輸・郵便事務従事者
25. 事務用機器操作員

＜販売従事者＞

26. 商品販売・営業職・販売類似職業従事者(小売店主、販売員等)

＜サービス職業従事者＞

27. 家庭生活支援・介護サービス職業従事者
28. 保健医療・生活衛生サービス職業従事者
29. 飲食物調理、接客従事者

- 30. 居住施設・ビル等管理人
- 31. その他サービス職業従事者
- <保安職業従事者>
- 32. 保安職業従事者
- <農林漁業従事者>
- 33. 農林漁業従事者
- <生産工程従事者>
- 34. 生産工程従事者
- <輸送・機械運転従事者>
- 35. 輸送・機械運転従事者
- <建設・採掘従事者>
- 36. 建設・採掘従事者
- <運搬・清掃・包装等従事者>
- 37. 運搬・清掃・包装等従事者
- <分類不能の職業>
- 38. その他

Q10. あなたが従事していた事業の内容は、次のどれですか。なお、過去 30 日の間に、もし、転勤や配置転換、仕事の内容が変わった場合、それ以前での部署の事業の内容で回答してください。(ひとつだけ)

1. 農業
2. 漁業・林業・水産業
3. 鉱業
4. 建設業
5. 製造業(出版、印刷を含む)
6. 卸売・小売業(デパート、スーパーを含む)
7. 飲食業、宿泊業
8. 金融・保険業
9. 不動産業
10. 運輸
11. 情報サービス・調査業
12. 情報サービス・調査業を除く通信情報業(電話など通信業、放送局、インターネットサービス)
13. 電気・ガス・水道・熱供給業
14. 医療・福祉
15. 教育・学習支援業(学校教育を含む)
16. その他のサービス業
17. 公務(国家公務、地方公務)
18. その他(具体的に)

Q11. あなたが働いていた会社全体、あるいは、事業全体の従業者数(パート・アルバイトや派遣社員なども含む)は、次のどれですか。官公庁に勤務の方は「官公庁」を選択ください。なお、過去 30 日の間に、もし、転勤した場合、それ以前での会社、あるいは、事業について回答してください。(ひとつだけ)

1. 1～4 人
2. 5～29 人
3. 30～99 人
4. 100～499 人
5. 500 人以上
6. 官公庁

(S3=1/3 のみ)

Q12. あなたが働いていた会社は外資系企業ですか。外資系企業とは、海外の法人、または外国人が一定の水準以上の出資をする日本の企業のことをさします。なお、過去 30 日の間に、もし、転勤した場合、それ以前での会社、あるいは、事業について回答してください。(ひとつだけ)

1. はい
2. いいえ

IV. あなたの仕事の内容や職場について、おうかがいします。なお、過去 30 日の間に、もし、転勤や配置転換、仕事の内容が変わった場合、それ以前での部署の仕事の内容で回答してください。

Q13. あなたの仕事の内容についておうかがいします。

(1) あなたの仕事では、通常、次のようなことはどのくらいありましたか。

(それぞれひとつずつ)

	まったく ない	月に 1 回未 満	月に 1 回以 上、週に 1 回未満	少なくとも 週に 1 回以 上。ただし、 毎日ではな い	毎日
1. グラフ、表、地図や図式を読むこと	1	2	3	4	5
2. 報告書を書くこと	1	2	3	4	5
3. 良い解決策を見つけるのに少なくとも 30 分はかかるような複雑な問題に直面すること(30 分は、単に解決策を「考える」のに必要な時間であり、その実行に要する時間ではありません。)	1	2	3	4	5
4. 人を説得したり、感化したりすること	1	2	3	4	5
5. 会社や組織の内外を問わず、人と交渉すること	1	2	3	4	5
6. 業務に関連した新しい事柄を同僚や上司から学ぶこと	1	2	3	4	5
7. 実地で(実際に仕事をしながら)仕事を覚えること	1	2	3	4	5
8. 新製品や新サービスについての最新情報を知ること	1	2	3	4	5
9. 手や指を使って精密な作業をすること	1	2	3	4	5
10. 長時間肉体労働をすること	1	2	3	4	5

(2) あなたの仕事では、通常、以下のことについて、あなたはどの程度自由に決められますか。(それぞれひとつずつ)

	まったくできない	ほとんどできない	少しはできる	できる	かなりできる
1. 作業を行う順番	1	2	3	4	5
2. どのような方法で仕事を行うか	1	2	3	4	5
3. 仕事をするスピード	1	2	3	4	5
4. 勤務時間	1	2	3	4	5

(3)あなたの仕事では、通常どの程度コンピュータを使用できる必要がありますか。(ひとつだけ)

1. 初級程度。たとえばデータ入力や電子メールのやり取りなど、簡単な日常業務にコンピュータを使う
2. 中級程度。たとえば文書作成、表計算、データベース管理などにコンピュータを使う
3. 上級程度。たとえばソフト開発やコンピュータ・ゲームの修正、Java、SQL、PHP、Perl などの言語を使ったプログラミング、コンピュータ・ネットワークの管理など
4. 仕事を行ううえでコンピュータを使う必要がない

Q14. あなたの通常の仕事や職場について、次の点があてはまるかをお答えください。なお、自営業主などで項目内容がまったく想定できない方は、「該当しない」とお答えください。(それぞれひとつずつ)

	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらでもない	ややあてはまる	かなりあてはまる	該当しない
1. 担当業務の内容が明確化されている	1	2	3	4	5	6
2. 自分の仕事はチームで連携して行う	1	2	3	4	5	6
3. 労働時間を気にせずに働く人が高く評価される	1	2	3	4	5	6
4. 成果に応じて評価が大きく変わる	1	2	3	4	5	6
5. 勤務時間、場所などの働き方を自分で選択できる(フレックスタイムや裁量労働制、在宅勤務など)	1	2	3	4	5	6
6. 育児や介護など家庭の事情で、抵抗なく仕事を休むことができる	1	2	3	4	5	6
7. 新しい ICT(情報通信技術)を積極的に取り入れている	1	2	3	4	5	6

V. テレワーク(※)について、おうかがいします。

※ここでのテレワークとは、インターネットやメールなどの ICT(情報通信技術)を利用した、場所などにとらわれない柔軟な働き方です。通常の勤務地(自社および顧客客先、出先など)に行かずに、自宅やサテライトオフィス、カフェ、一般公共施設など職場以外の場所で一定時間働くことをさします(ただし、移動交通機関内での仕事は含めません)。

たとえば、企業に勤務する人が行うテレワークとして、在宅勤務(自宅を就業場所とするもの)、モバイルワーク(施設に依存せず、いつでも、どこでも仕事が可能状態なもの)、施設利用型勤務(サテライトオフィス、テレワークセンター、スポットオフィス等を就業場所とするもの)、などがあります。また、個人事業者・小規模事業者等が行うテレワークとして、SOHO(主に専門性が高い仕事を行い、独立自営の割合が高いもの)、内職副業型勤務(主に他のものが代わって行うことが容易な仕事を行い、独立自営の割合が薄いもの)があります。

Q15. 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、テレワークに関して勤務先からどのような方針が示されていましたか。自営業者の方は政府や自治体等の公的機関や同業組合や同業者から要請があった場合、どのような要請があったかについてお答えください。なお、過去 30 日の間に、もし、転勤した場合、それ以前での会社、あるいは、事業について回答してください。

(ひとつだけ)

1. テレワークをするよう指示・要請されていたため、テレワークを選択するしかなかった
2. テレワークをするよう推奨され、テレワークをするかどうかは自由に選択できた
3. 指示・要請も推奨もされなかったが、テレワークをするかどうかは自由に選択できた
4. 一部の部署や人に対してテレワークの指示・要請や推奨はなされたが、自分はその対象ではなかった
5. 指示・要請も推奨もされず、テレワークを選択できなかった

(Q15=1 のみ)

SQ.テレワークをするよう指示・要請されていた場合、テレワークをどのくらいの頻度でするよう指示・要請されていましたか。(ひとつだけ)

1. 原則、毎日
2. 週 3~4 日程度
3. 週 1~2 日程度
4. 日数は決まっておらず、各人に任せられていた

Q16. 2020 年 3 月時点で、あなたは通常業務でテレワークを利用していましたか。(ひとつだけ)

1. 利用していた
2. 利用していなかった
3. 該当しない(自営業主等、通常の職場と自宅が同じ)

(Q16=1 のみ)

SQ1.2020 年 3 月時点でテレワークを利用していた場合、利用し始めた時期についてお答えください。(ひとつだけ)

1. 2016 年 4 月より前
2. 2016 年 4 月～2018 年 3 月
3. 2018 年 4 月～2020 年 1 月
4. 2020 年 2 月以降

(Q16=2 のみ)

SQ2.2020 年 3 月時点でテレワークを利用していない場合、かつては利用したことがありますか。(ひとつだけ)

1. かつて利用していたことがある
2. いままで利用したことがない

Q17. 2020 年 3 月時点と、新型コロナウイルスの感染拡大前の 2020 年 1 月時点において、あなたは平均してどの程度の頻度で勤務をおこないましたか。通常の職場での勤務とテレワークについて、それぞれお答えください。(それぞれひとつずつ)

※ここでのテレワークとは、インターネットやメールなどの ICT(情報通信技術)を利用した、場所などにとられない柔軟な働き方です。通常の勤務地(自社および顧客客先、出先など)に行かずに、自宅やサテライトオフィス、カフェ、一般公共施設など職場以外の場所で一定時間働くことをさします(ただし、移動交通機関内での仕事は含めません)。

		週 5 日 以上	週 4 日	週 3 日	週 2 日	週 1 日	月に 1～ 3 日	行ってい ない
(1)2020 年 3 月	1. 通常の職場 での勤務(個人 事業主で自宅 で働いている 場合も含む)	1	2	3	4	5	6	7
	2. テレワーク	1	2	3	4	5	6	7
(2) 2020 年 1 月	3. 通常の職場 での勤務(個人 事業主で自宅 で働いている 場合も含む)	1	2	3	4	5	6	7
	4. テレワーク	1	2	3	4	5	6	7

Q18.2020 年 3 月時点および 1 月時点において、あなたの 1 日の平均的な勤務時間は何時間でしたか。通常の職場に出勤していた日とテレワークで勤務していた日について、それぞれお答えください。なお、勤務時間には、残業を含めますが、通勤・食事・休憩の時間や、家事・育児・介護の時間は除きます。

※通常の職場での勤務、あるいはテレワークを行っていない場合は「0 時間程度」としてください。

(1)2020 年 3 月時点

通常の職場に出勤している日の勤務時間平均 1 日平均()時間程度

(0～24 までのプルダウン。以下同じ)

テレワークで勤務している日の勤務時間平均 1 日平均()時間程度 (プルダウン)

(2)2020 年 1 月時点

通常の職場に出勤している日の勤務時間平均 1 日平均()時間程度 (プルダウン)

テレワークで勤務している日の勤務時間平均 1 日平均()時間程度 (プルダウン)

Q19. 以下のことは、テレワークの利用にあたって、どの程度障害となりましたか。なお、各項目の内容が現実にあてはまらない人は、該当しないとお答えください。(それぞれひとつずつ)

※各項目の「該当しない」の意味はそれぞれ以下のとおりです。

1(知識をもっている)、2 および、3(環境が整っている)、4(自己負担ではない)、5(Web 会議を使わない)、6(進捗をみていない)、7(評価を受けないし、しない)、8(アクセスが許されている)、9(データ化されている)、10(ファイルが共有されている)、11(電子決裁を行っている)、12(不安がない)、13(不安や違和感がない)、14(テレワークが自分の職種や業務に合っている)、15(世話をする必要がない)

	非常に大きな障害になった	ある程度障害になった	どちらともいえない	あまり障害にならなかった	まったく障害にならなかった	該当しない
1. 自分の ICT(情報通信技術)に対する知識が不足している ※知識が十分にある人は、該当しない、とお答えください	1	2	3	4	5	6
2. PC、プリンター、机など、自宅に仕事をする環境が整っていない ※環境が整っている人は、該当しない、とお答えください	1	2	3	4	5	6
3. 自宅のインターネット環境・通信環境が整っていない ※環境が整っている人は、該当しない、とお答えください	1	2	3	4	5	6
4. 通信費が自己負担になっている ※自己負担ではない人は、該当しない、とお答えください	1	2	3	4	5	6
5. 打合せが Web 会議になる ※Web 会議を使わない人は、該当しない、とお	1	2	3	4	5	6

教えてください						
6. 自分以外の職員・顧客・取引先の仕事の進捗がみえにくくなる ※進捗をみていない人は、該当しない、と教えてください	1	2	3	4	5	6
7. 会社・顧客・取引先などから成果の評価がしにくい、されにくい ※評価を受けないし、しない人は、該当しない、と教えてください	1	2	3	4	5	6
8. 外部から会社・事務所のサーバーやシステムへアクセスが許されていない ※アクセスが許されている人は、該当しない、と教えてください	1	2	3	4	5	6
9. 資料・書類がデータ化されていない、あるいはできない ※データ化されている人は、該当しない、と教えてください	1	2	3	4	5	6
10. ファイルを共有する環境が整っていない ※ファイルが共有されている人は、該当しない、と教えてください	1	2	3	4	5	6
11. 稟議や書類処理、経理処理の電子決裁の環境が整っていないこと ※電子決裁をおこなっている人は、該当しない、と教えてください	1	2	3	4	5	6
12. 情報セキュリティ情報	1	2	3	4	5	6

管理に対する不安がある ※不安がない人は、該当しない、と教えてください						
13. 仕事仲間と会話できないことに対する不安や違和感がある ※不安や違和感がない人は、該当しない、と教えてください	1	2	3	4	5	6
14. テレワークは、自分の職種や業務に合わない ※テレワークが自分の職種や業務に合っている人は、該当しない、と教えてください	1	2	3	4	5	6
15. 自宅にいと子どもや家族の世話をしなければならない ※世話をする必要がない人は、該当しない、と教えてください	1	2	3	4	5	6

(Q16=1 のみ)

Q20. 2020 年 3 月時点でテレワークを利用していた方へ、テレワークによる仕事の成果への影響についてお聞きします。仮に新型コロナウイルスの感染拡大の出来事がなく、通常通りの勤務をしていた場合を想像してください。通常通りの勤務に比べて、テレワーク勤務により、時間あたりの仕事のパフォーマンス(仕事の効率)はどのように変化したと思いますか。

通常通り勤務していた場合の仕事の成果を 100 とした場合の数字でお答えください。たとえば、仕事のパフォーマンスが 1.3 倍になれば「130」、半分になれば「50」となります。上限を「200」としてお答えください。

※ここでのテレワークとは、インターネットやメールなどの ICT(情報通信技術)を利用した、場所などにとらわれない柔軟な働き方です。通常の勤務地(自社および顧客客先、出先など)に行かずに、自宅やサテライトオフィス、カフェ、一般公共施設など職場以外の場所で一定時間働くことをさします(ただし、移動交通機関内での仕事は含めません)。

() (0~200 まで 10 刻みのプルダウン)

Q21. あなたが 2020 年 3 月現在、同居している人をお答えください。(いくつでも)

1. 配偶者(事実婚を含む)
2. 未成年の子ども
3. 成年の子ども
4. 父母(義理の父母含む)
5. 兄弟姉妹
6. 祖父母(義理の祖父母含む)
7. 孫
8. その他
9. 同居している人はいない

(Q21≠9 のみ)

SQ1.同居の方がおいでになる場合、その中で 2020 年 3 月現在、就業している方をお答えください。(いくつでも)

1. 配偶者(事実婚を含む)
2. 未成年の子ども
3. 成年の子ども
4. 父母(義理の父母含む)
5. 兄弟姉妹
6. 祖父母(義理の祖父母含む)
7. 孫
8. その他
9. 就業している人はいない

(Q21SQ1≠9 のみ)

SQ2.就業している同居の方がおいでになる場合、その中で 2020 年 3 月現在、テレワークをしている人はいますか。(いくつでも)

1. 配偶者(事実婚を含む)
2. 未成年の子ども
3. 成年の子ども
4. 父母(義理の父母含む)
5. 兄弟姉妹
6. 祖父母(義理の祖父母含む)
7. 孫
8. その他
9. テレワークをしている人はいない

VI. あなたの仕事上のコミュニケーションの状況について、おうかがいします。

Q22. 2020年3月時点で、あなたは通常の職場での勤務やテレワークで、ビジネスチャットまたはWeb会議を利用していましたか。利用していた場合は、利用し始めた時期についてお答えください。(ひとつだけ)

※ビジネスチャット・Web会議の例として、Slack、Chatwork、Workplace by Facebook、LINE、Zoom、Skype、Google ハングアウト、V-CUBE、Teams、Webexなどがあげられます。

1. 利用していた
2. 利用していなかった

(Q22=1のみ)

SQ1.2020年3月時点でビジネスチャットまたはWeb会議を利用していた場合、利用し始めた時期についてお答えください。(ひとつだけ)

1. 2016年4月より前
2. 2016年4月～2018年3月
3. 2018年4月～2020年1月
4. 2020年2月以降

(Q22=2のみ)

SQ2.2020年3月時点でビジネスチャットまたはWeb会議を利用していない場合、かつては利用したことがありますか。(ひとつだけ)

1. かつて利用していたことがある
2. いままで利用したことがない

Q23. あなたは通常の職場での勤務およびテレワークで、ビジネスチャットまたは Web 会議を、どの程度の頻度で利用しましたか。2020 年 3 月時点と、新型コロナウイルスの感染拡大前の 2020 年 1 月時点についてお答えください。(それぞれひとつずつ)

		まったく利用しなかった	ほとんど利用しなかった	ときどき利用した	頻繁に利用していた	通常の職場での勤務/テレワークをしていない
(1)2020 年 3 月	1. 通常の職場での勤務の時(個人事業主で自宅で働いている時も含む)	1	2	3	4	5
	2. テレワークの時	1	2	3	4	5
(2) 2020 年 1 月	3. 通常の職場での勤務の時(個人事業主で自宅で働いている時も含む)	1	2	3	4	5
	4. テレワークの時	1	2	3	4	5

Q24. 2020 年 1 月時点と比べて 2020 年 3 月時点において、あなたが仕事に関わる以下の人とのコミュニケーションは十分にとれていたと思いますか。それぞれあてはまる人が複数いる場合、平均した印象をお答えください。(それぞれひとつずつ)

	2020 年 3 月時点コミュニケーションは					
コミュニケーションをとる相手	以前(1 月時点)と比べて、ほとんどとれなかった	以前と比べて、あまり十分にとれなかった	以前と同様にとれていた	以前よりも十分にとれた	以前はとっていなかったが、新たにとるようになった	これまでもとっていなかった・該当しない
1.「自社」の人(関連会社・子会社の人を含む)	1	2	3	4	5	6
2.「自社と同じ都道府県」の内にいる他社の人や顧客	1	2	3	4	5	6
3.「自社と同じ都道府県」の外に居る他社の人や顧客	1	2	3	4	5	6
4.「海外」に居る他社の人や顧客	1	2	3	4	5	6

VII. 新型コロナウイルスの感染拡大の影響について、おうかがいします。

Q25. あなたの(担当の)仕事において、新型コロナウイルスの感染拡大の影響として考えられる、以下のよう
な出来事は起こりましたか。(いくつでも)

1. 予定していた仕事をキャンセル・延期された
2. 取引等で予定されていた対価が支払われなかった
3. 取引等で予定されていた対価を減額された
4. 事業を継続するうえでの資金繰りに困った
5. 顧客や受注の減少により、仕事の見直しや業務の縮減を行った
6. 仕事相手(顧客、同僚)と連絡がとりにくくなった
7. 勤務先から自宅待機や休業を命じられた
8. 自分や家族の新型コロナウイルス感染予防のため、予定していた仕事での外出は控え、在宅で
仕事を行った
9. 子どもの休校への対応のため、予定していた仕事をキャンセル・延期した
10. その他の仕事上のトラブルがあった(具体的に)
11. 該当する出来事はない

VIII. 新型コロナウイルスの終息後のことについて、おうかがいします。

Q26. 新型コロナウイルスの終息後の働き方についてのあなたのお考えについておうかがいします。あなたの希望する働き方をお答えください。(ひとつだけ)

1. 毎日出勤したい
2. 週に3～4日出勤したい(1～2日はテレワークを行う)
3. 出勤とテレワークを半々で行いたい
4. 週に3～4日テレワークしたい(1～2日は出勤する)
5. 毎日テレワークしたい

(Q26=2～5のみ)

SQ.Q26で「テレワークを週1日以上したい」と回答した方へおうかがいします。Q26で回答した、あなたの希望する働き方が実現したとします。しかし、勤め先からは、毎日出勤すれば追加的な賃金を支給するといわれています。その場合、あなたは月にいくら追加的な賃金をもらえれば、毎日出勤しますか。現在のあなたの収入が月収40万円と想定してお答えください。

〇〇万〇千円 (十の位、一の位それぞれ0～9のプルダウン)

Q27. 以前(新型コロナウイルスの感染拡大前)と比べて、下記のことについて、あなたの考えはどう変化しましたか。(それぞれひとつずつ)

	とてもそう思うようになった	ややそう思うようになった	以前と変わらない	あまりそうは思わなくなった	まったくそうは思わなくなった
1. 意思決定を行う場合には、対面での会議の方がWeb会議よりも望ましい	1	2	3	4	5
2. コミュニケーションの手段としては、電話の方がビジネスチャットやメールよりも優れている	1	2	3	4	5
3. 資料や書類のペーパーレス化を進めた方が仕事もやりやすくなる	1	2	3	4	5
4. ICT(情報通信技術)を積極的に取り入れるほど企業の業績は上がる	1	2	3	4	5
5. テレワークを積極的に進めるべきだ	1	2	3	4	5

Q28. 今回の新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえておうかがいします。将来も含めた国民全体にとって、政府が以下の取組を進めることに賛成ですか、反対ですか。(それぞれひとつずつ)

	反対	やや反対	どちらでもない	やや賛成	賛成	わからない
1. オンライン診療の推進	1	2	3	4	5	6
2. オンライン教育の推進	1	2	3	4	5	6
3. Eコマース・デジタル決済の推進	1	2	3	4	5	6
4. 緊急事態における政府による個人の行動の制限や物資・経済統制	1	2	3	4	5	6
5. 生産拠点の国内回帰	1	2	3	4	5	6
6. 財・サービスの国境を越えた自由な取引(グローバル化)	1	2	3	4	5	6
7. 人の自由な移動や海外の人材の活用	1	2	3	4	5	6

以上